

平成30年度

平成31年1月8日
練馬区立高松小学校
栄養士 宮島加奈代

1月の給食だより



「早寝早起き朝ごはん」運動

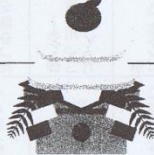


あけましておめでとうございます



今年度も残すところ3ヶ月をきりました。1年間の総まとめとなる3学期は、インフルエンザやノロウイルスが流行する時期のため、健康管理にはより一層の注意が必要です。寝不足が続いたり、食事を抜いたりすると体調を崩しやすくなりますので、早寝・早起きをし、朝ごはんをしっかりと食べて登校するようにしましょう。手洗い・うがいも忘れずに！

1月の献立紹介



◆11日…【鏡開きこんだて】しらたま入りおしるこ

新年に行われる「鏡開き」は、正月に年神様にお供えしていた鏡もちを下げて、お雑煮やおしるこにして食べます。下げた鏡もちを切らずに割ったり、砕いたりして使います。これは武家の風習で、「切る」という言葉は縁起が悪いため、刃物を使わず木づちでたたき割り、「鏡もちを割って開いた」ことを「運が開く」にかけ「鏡開き」とよんだそうです。

◆24日…【たかまつ小学校50しゅうねんきねんきゅうしょく】

給食委員会の取り組みのひとつとして、50周年記念献立を考えました。全校児童に投票してもらい、一番票の多かった献立がこの日に登場します！児童集会（給食委員会）で結果を発表しますので、お楽しみに★

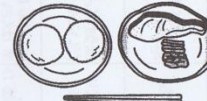
保護者のみなさまへ

今月は給食費の集金、最終月です。給食費集金日：1月11日（金）
振替日の前日までにゆうちょ銀行口座へご入金をお願いします。

1月24日から1月30日は、全国学校給食週間です。 学校給食の歴史を振り返ってみましょう！

明治22年、山形県の小学校で始まったとされる学校給食。戦争によって中止されながらも、さまざまな歴史をたどり、現在まで続いています。「全国学校給食週間」は、戦後、アメリカの支援団体からの援助により、学校給食が再開されたことを記念して定められたもので、学校給食の意義や役割について理解を深め、関心を高めることを目的としています。当時の代表的な献立を一例に、学校給食の歴史をご紹介します。

明治22年 (1889年)



【おにぎり、焼き魚、漬物】

山形県の私立忠愛小学校で、お弁当を持てられない子どものために食事を提供したのが、日本の学校給食の始まりとされる。

大正12年 (1923年)



【五色ごはん、栄養みそ汁】

9月1日に関東大震災が発生。義援金により給食が実施され、学校給食の価値が広く認められるようになる。

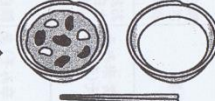
昭和17年 (1942年)



【すいとんのみそ汁】

昭和16年に太平洋戦争が始まると、食料が不足し、全国的に給食が中止され始める。昭和19年に6大都市の小学生に特別配給物資による学校給食が実施される。

昭和22年 (1947年)



【ミルク（脱脂粉乳）、トマトシチュー】

昭和20年に戦争が終わり、子どもたちの栄養状態を改善するため、この年から支援物資による学校給食が全国で開始される。

昭和25年 (1950年)



【コッパン、ミルク（脱脂粉乳）、カレーシチュー】

アメリカから寄贈された小麦粉で8大都市の小学生に「パン・ミルク・おかず」の完全給食が実施される。

昭和40年 (1965年)



【ソフトめんミートソース、牛乳、フレンチサラダ】

昭和38年に「ソフトめん」が登場。また、昭和39～43年ごろにかけて、脱脂粉乳から牛乳へと切り替わる。

昭和51年 (1976年)



【カレーライス、牛乳、塩もみ、ゆで卵】

白米（ご飯）が正式に導入される。当初は炊飯器が不足するため、お釜を作る釜で炊飯を炊く施設が多かった。

そして、現在は…

子どもたちの食習慣の乱れ、偏った食事による肥満や生活習慣病の増加が心配されることから、学校給食は、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけるために、さまざまなことを学ぶ「生きる教材」としての役割を担っています。